

## 第6回 昭島市事務事業外部評価委員会

### 議 事 要 旨

〔日 時〕 平成 25 年 9 月 18 日（金） 18：30～21：30

〔場 所〕 昭島市役所 602・603 会議室

〔出席者〕

#### 1 委員

佐久間榮昭委員長、和田篤彦副委員長、出雲明子委員、松本智子委員、村上龍男委員、山田諭子委員

#### 2 事務局

早川企画部長、佐藤企画政策室長、板野財政課長、滝瀬財政係長、進藤企画調整担当主査、吉野企画調整担当主任

#### 3 傍聴者 なし

〔配布資料〕

- ・ 第 6 回事務事業外部評価委員会 次第
- ・ 平成 25 年度事務事業外部評価事業説明シート及び資料

〔議事要旨〕

#### 1 外部評価対象事業事前説明

事務局から事務事業外部評価説明シート及び配布資料の内容を説明し、担当課より対象事業の説明に入った。

事業番号 6 シルバー人材センター補助事業【説明員：中野産業活性化室長、河野生活コミュニティ課長、東山産業振興係長】

産業活性化室長より事務事業評価（外部評価）説明シート、事務事業評価（内部評価）シート及び資料に基づき事業の説明を行った後、質疑応答に入った。

《質疑応答》

- ◆昭島市シルバー人材センター補助金交付要綱によると市長に実績報告書の提出を義務付けているが、センター自体は外部から監査を受けているのか。【山田委員】
- シルバー人材センター自体が外部から監査を受けたことはない。【産業活性化室長】
- ◆配分金、単価は業種や職種で違うのか。経験値においてはどうか。【山田委員】
- 仕事の内容によって時間単価が決まっている。【産業活性化室長】
- ◆公共の発注が 6 割以上を占めているが、他市で公共の発注割合が低いシルバー人材センターではどの

ような運営をしているか、調査したことはあるか。【出雲委員】

○統計として、26市で公共の発注割合がどれくらいかを示したものはなく、これまで市で調査を行ったこともない。【産業活性化室長】

◆補助金で経営を維持しなければならないという条件はあるのか。【出雲委員】

○シルバー人材センターが補助金をもらうことを前提に事業を行っているということはないし、補助もらったからといって市からの受注を必ず受けなければならないということもない。【産業活性化室長】

◆補助金を交付し仕事も発注しているとなると、市役所から人材センターに対する経費の支払いが二重となっているように思うが、市として発注を一定の割合に抑えるということはしているか。【出雲委員】

○各主幹課が事業内容や高齢者への就労支援という視点を踏まえ、契約相手としてシルバー人材センターが適切かどうかを判断した上で契約を行っており、補助金を交付する担当課が発注割合をコントロールするという事は行っていない。【産業活性化室長】

◆各課でそれぞれ判断し契約していくと、公共の発注割合が増大する可能性もある。例えば、民間の発注を増やすため、発注を一定の水準に抑えるといった方針を、市全体として示していくという方法もあると思うが、どうお考えか。【出雲委員】

○年間の契約の割合がどの程度になるかは、補助金を出す担当課では把握しきれないが、ご意見は契約担当課にも伝えていきたい。【産業活性化室長】

◆今は民間の発注が増えているかもしれないが、不況期など経済状況によっては公共の発注が増えてしまうことが避けられない可能性もあり、そういった目安のようなものがあつた方がいいと思い、述べさせていただいた。【出雲委員】

◆外部評価シート②の課題欄について、会員数が減少し、契約金額も下がっているにもかかわらず、「会員の増加が見込まれる」という記載があるが、根拠をお聞かせ願いたい。【松本委員】

○一般的な社会構成として、団塊世代が退職期を迎え、その多くが地域社会での活動を始めると想定しての一文であるが、実際は年金支給時期の関係もあり、企業において再雇用制度が増えたことなどにより、会員数は減少の傾向にある。【産業活性化室長】

◆事業実績の推移の資料から、材料費の増加原因についてお聞かせ願いたい。【松本委員】

○その時々の仕事内容によるが、公共事業の方がどちらかというとマンパワーに頼る事業が多く、民間の発注内容は材料費がかかるものもあるため、民間発注が増えれば材料費増といった面もある。ただし、依頼主から材料費実費はいただいている。【産業活性化室長】

◆高齢者が増えているのに登録会員数1000人は少ない。会員増対策としては、どんなことを行っているか。【村上委員】

○会員獲得に関して、会報で募る、イベント会場でシルバー人材センターのブースを設けて会員登録を呼びかけるなどしているが、実績として結びついておらず、課題となっている。【産業活性化室長】

◆高齢化社会に向けた取組みとして会員を増やすことが大事だと思うので、発想を転換して会員獲得キャンペーンの実施などをしていただきたい。貸借対照表(平成25年3月31日現在)から正味財産比率46%強と読み取れるが、これに対する市の評価をお聞かせ願いたい。【村上委員】

○公益法人2年目ということで、まだ具体的評価を行うに至っていないのが現状であり、評価は課題と捉えている。【産業活性化室長】

- ◆理事として市の職員が理事会に出席するなど、市としての関わりはあるのか。【村上委員】
- 理事会のメンバーに市の職員はおらず、定期総会での発言も行っていない。【産業活性化室長】
- 補助金の実績報告を提出いただく中で、担当職員と意見交換を行うことはある。【生活コミュニティ課長】
- ◆センターの方針として臨時的・短期的な雇用機会の提供とあるが、発想を変えて、これを継続的、長期的な雇用につながる取組とすることはできないか。【村上委員】
- 国全体の取組としては、臨時的・短期的な雇用機会の提供が前提だが、国の指針が許す限り、広範囲に取組む必要があると考えており、ご意見は参考とさせていただきます。【産業活性化室長】
- ◆補助要綱を資料としてご提出いただいたが、評価シートの財源内訳・国庫支出金の欄に金額の記載がない。【和田副委員長】
- 国庫補助金は市を経由せず直接、シルバー人材センターに振り込まれている。【産業活性化室長】
- ◆要綱より、市の補助金の2分の1を限度として都の補助金が交付されるとあるが、市の金額が下がれば都補助額も減るといった解釈でよいか。【和田副委員長】
- そのとおりである。【産業活性化室長】
- ◆事業実績の推移をみると、10年間で会員数、就業数の変動は殆どない。労働人口が減少し高齢者が増加する中で高齢者の就労支援の現状を本当に反映しているのかという疑問が生じた。一方、就業延べ人員は30%増と伸びている。しかし配分金は6%しか伸びていない。計算すると平成14年で1件あたり4,100円が平成24年で3,300円、収入として2割減である。これではシルバーで仕事をして収入にならず、シルバーで働くことが魅力的とはいえない。これが今のシルバー人材センターの問題点であるように思える。民間の細かい仕事が増えていて、公共の大口が減っているからという理由もあるかもしれない。外部監査を受けてない、補助金を交付する側が内部に入っていないのがこうした問題の原因の一つとも思えるが、どうしてこのような体制なのか。【和田副委員長】
- 現時点では、外部監査や市職員を理事にするなどの体制はとっていない。また、今まで、特にそれに関しての取組みを行ったことはない。【産業活性化室長】
- ◆監査、理事の件は要望とさせていただきます。貸借対照表をみて、事業の安定性は極めて良いと判断される。流動比率150%、自己資本比率46%である。一企業とみなしたときはかなり優秀であるのに、なぜ補助金を出さなければならないのか。この内容は補助を受けて蓄積した結果ではないのか。これをこのまま続けていくのか。今後の方針をお聞かせ願いたい。【和田副委員長】
- この事業について、今年4月から生活コミュニティ課から産業活性化室へ事務が移管されている。事業内容の分析などはまだ十分に行っていないが、分析が必要があるということは認識している。その上で一定の見解を出していかなければならない。大枠でみて人件費等を絞っていき、どのような対応が必要なのか検討していきたいと考えている。【産業活性化室長】
- ◆補助の大半は人件費に充てている。何人分か。【佐久間委員長】
- 平成24年時点で正職員は5人、嘱託職員2人である。【産業活性化室長】
- ◆職員が変わらなければ、定期昇給などで給料が上がると思われるが、それによって補助も増えるのか。仕組みについてお聞かせ願いたい。【佐久間委員長】
- 平成25年度に関しては正職員1人の退職があった関係で補助金額を減らしたが、規定があるわけではない。センターからは、ベースアップを含めた形で人件費の資料を提出してもらおうが、あくまで予算

の範囲内で、前例を加味しながら補助額を決めている。【産業活性化室長】

◆貸借対照表の記載内容について、市補助金0円とあるが、なぜか。【佐久間委員長】

○平成25年3月31日現在0円だが、平成24年3月31日現在の同じ個所に4,169,360円とあり、これが退職金として支払われた結果0円となったという見方をしている。【産業活性化室長】

◆補助団体に対して監査事務局や担当課が監査を定期的に行っているか。【佐久間委員長】

○シルバー人材センターから実績報告を受ける際、職員が書類チェックを行っている。【生活コミュニティ課長】

◆シルバー人材センターへの苦情を担当課が知る努力はしているか。【佐久間委員長】

○積極的に利用者に対してアンケートはしていないが、利用者から市に話があることもある。そういった場合はシルバー人材センターへ連絡し状況確認を行った上で改善を求めている。【産業活性化室長】

◆センターの事務局職員が直接会員には注意しづらいが、市からの伝言という形なら伝えやすいと思われる。待遇改善のための意見として聞いていただきたい。それでは質問は以上とする。評価シートをご記入いただきたい。【佐久間委員長】

記入後、評価発表。

◆以上で終了とする。本日はありがとうございました。【佐久間委員長】

事業番号 11・12 学校管理運営（小学校・中学校）【説明員：柳庶務課長、青木庶務係長、別所施設係長】  
庶務課長より事務事業評価（外部評価）説明シート、事務事業評価（内部評価）シート及び資料に基づき事業の説明を行った後、質疑応答に入った。

《質疑応答》

◆現在は、単価協定を基に、必要に応じて学校で個別に注文しているという理解でよいのか。単価協定は毎年改定されるものなのか。【出雲委員】

○消耗品は庶務課で調達するのではなく、必要に応じて各学校で購入している。単価協定品については毎年全庁的に予定数量を調査し、それを基に契約管財課と業者で単価を決めている。【庶務課長】

◆プリンタカートリッジの種類が少ないが、プリンターの機種は限定されているのか。記載されている単価は定価か。【出雲委員】

○単価協定一覧に掲載されていないプリンターも使用している。単価については定価の75%で協定している。【庶務係長】

◆電気料金や消耗品でコスト削減を図っているようだが、事前説明の際に図書は学校ごとに購入と聞いた。図書をまとめて調達することでコストを抑えることは可能か。価格は公の形で定まっているのか。【出雲委員】

○2社から見積もりを取り価格の低い方の業者と年間契約し購入している。価格については貸出図書用の装丁済みで納品してもらい定価購入をしている。【庶務課長、庶務係長】

○図書は再販制度が適用されており、バーコードを貼る、フィルムルックスをかける、背表紙にシールを

貼るという装丁込みの価格でもある。ほぼ定価というのが現状である。【事務局】

◆昭島市の小中学校の独自性をお聞かせ願いたい。【出雲委員】

○市では現在、校庭の芝生化宣言をしており、現在15校中9校の校庭が芝生化されている。これにより、体力・運動能力の向上を図っていく計画である。現在は維持管理について国からの補助金を充てているが、市の負担を少しでも抑えるために、自分たちで維持管理をする体制づくりも進められている。成果としては、児童の外遊びの機会が増え、体力測定の結果も伸び始めてきたところである。【庶務課長】

◆費用対効果はあるのか。【出雲委員】

○素足で歩くことで体が丈夫になる、埃がたたない、周りの気温が下がるなど、コスト面からは計れないところで効果はあると考えている。【施設係長】

◆電話料金が小学校で月2万円、中学校で月3万円かかっている。通話だけでこれだけの金額はかかりすぎのような気がする。他の手段では対応しきれないのか。【松本委員】

○児童についての保護者との相談などは通話時間が長くなる傾向ある。時間がかかるからといって途中からメール等での対応に切り替えるというのはなかなか難しいと思われる。【庶務課長】

◆芝生化について、読売新聞にも掲載されていたが、管理費が増えることが懸念されている。委託コスト抑制策として何か検討していることはあるか。【松本委員】

○冬芝の種をまかなければその分費用はかからなくなるが、9校中4校は冬場も緑の芝生を希望している。将来的には配当予算内で種を購入し、自分たちで播いていただくことを検討している。【施設係長】

◆うまく自分たちで管理できた場合どれくらいコスト削減できるのか。【松本委員】

○補助金が交付されている間に造園業者の技術を習得できれば、冬芝の種代、肥料、水以外はかからなくなると思われる。【施設係長】

◆防犯上の問題はこれまであったか。その対策は。【村上委員】

○25年度に入り1つの中学校の窓ガラスが夜間に立て続けに割られたことがあった。その際には照明を点灯したままにする、防犯カメラの方向変更、警備会社に巡回回数を増やしてもらうなどの対策を取った。防犯カメラは各校の入口付近などに4台、侵入者対策で設置している。被害箇所はカメラ設置箇所から離れた場所で発生した。そのため巡回回数を増やした。【庶務課長・施設係長】

◆校内、学校間、市とのパソコンのLANについて、構築はなされているか。LANを結ぶことのメリットについて学校管理ではどのようなことがあるのか。【村上委員】

○職員室では有線でデータをファイルサーバーに格納し、そのパソコンの線を外して教室にもっていくことができる。教室は無線でインターネットが利用できる。生徒の成績などの個人情報や教室では見られない。メリットとしては、データはファイルサーバーにあるのでパソコンを持ち出してもデータは流出しない。インターネットが利用できる等である。【庶務課長】

◆昭島市以外の市町村と学校管理運営についての情報交換の場はあるのか。【村上委員】

○東京都の庶務課長会では施設管理について等の情報交換の場もある。【庶務課長】

◆空教室の有効利用についてお伺いしたい。管理上の問題などはあるか。【村上委員】

○必要に応じて、学童クラブとして活用している学校もある。空いている教室があると書類スペースとして使用するなど、全く利用されていない教室というのではない。今のところは、管理上の問題は生じていない。【庶務課長】

◆事業説明シート②の成果欄で電気料前年比10%減とあるが、昭島は基地が近く防音の関係から窓も二

重サッシ、冷房設備もあり、環境的に恵まれているが、電気料については防衛から補助があるのか。

【山田委員】

○光熱水費の電気料金に対する防衛からの補助はあるが、現在節電の関係から室温は28度に設定している。【庶務課長】

◆平成14年度と24年度の比較で土地の公示価格が下がっているのにもかかわらず土地借上料で増加がみられる。民間からの借上げの算定方法は市で決めたものなのか。【山田委員】

○特に法的に決められているものはないので、市と当事者の間で決めたものである。金額については毎年度、価格設定が適正かどうかを市の部長職で構成する財産価格審査会で審査している。【施設係長】

◆近隣市町村との比較はあるか。【山田委員】

○3年前に比較したものがあり、学校用地の借上料について固定資産税の2～5倍で金額設定していた。土地を借りている市町村平均は固定資産税×2.7であり、昭島市は固定資産税×2.6であったので平均程度と考えている。【施設係長】

◆話をお伺いしてもこの賃料の上昇は納得しがたい。【山田委員】

○参考までに、24年度と25年度の比較でみると土地借上げ料は下がっている。【財政課長】

○手元の資料で16年度と23年度の比較があり、16年度は7800万円程度、23年度は9100万円程度で国有地だけで1300万円程度上がっている。比較年度は違うが土地借上料の上昇分に占める国有地の割合は高いものと考えられる。【施設係長】

◆国は固定資産税を払っているのか。【山田委員】

○公有地は固定資産税がかからない。【財政課長】

○借上料は相続税路線価格を基本に国が決めた国有財産台帳登載価格に準じている。固定資産として評価をしていないので何とも言えないが、路線価の時価に近い価格となっているはずである。【企画部長】

◆土地借上料について、小中学校あわせて事業費全体の23%を占める。事業費全体としては微減でかなりの努力が見られるので、土地借上料を抑えなければ、この事業費の削減は難しいと思われる。国は国の基準で一方向的にいくてくと思うが、昭島市は個別に国と減額に向けての交渉を行ったことはあるのか。【和田副委員長】

○全国市長会で義務教育施設の無償化の提案はなされているが、受け入れられずにこれまで来ている。【庶務課長】

○参考までに、昨年か一昨年も、教育長が国に交渉にいつている。【財政課長】

◆国有地の借上料は、路線価の変更等により3年ごとに変わるのか。【和田副委員長】

○契約期間は30年で、貸付金額の予定通知は3年ごとに来る。【施設係長】

◆先ほどの説明では、16年度に7800万円で23年度に9100万円という金額だったと思う。増え方としては著しい。国からの一方向的な通知で決まり、交渉の余地がないというのも納得しがたいが、根強い要請をお願いしたい。民間の方は宗教法人から借りていると思うが、この場合にも固定資産税も非課税なのか。【和田副委員長】

○個人からも借りている。宗教法人から借りている土地に関しては、目的外使用ということで固定資産税はかかっている。固定資産税相当額をもとに3年ごとに地主と交渉を行って金額を決めている。【施設係長】

◆民間からの借上料を先ほどの国有地と同じような比較で価格を教えてください。【和田副委員長】

- 平成16年度が4400万円程度、平成23年度が4700万円程度で差額は300万円程度である。【施設係長】
- ◆土地借上料に関して、民間はそれほど増えていない。圧倒的に国有地の上昇率が高いということがわかった。改めて国有地の借上料への対策をお願いしたい。【和田副委員長】
- ◆芝生化について、経費として600～700万円程度が必要と思われるが、その功罪について伺いたい。メリットは大きいのか。【佐久間委員長】
- メリットの方が大きいと考えている。【庶務課長】
- ◆消耗品について、児童数の増減により配当予算額が変わると思うが、算出方法を教えていただきたい。【佐久間委員長】
- 学校一律配当額＋児童数×単価で予算化をしている。【庶務課長】
- ◆空教室利用について検討する会議はあるか。【佐久間委員長】
- これまでにそういった会をもったことはない。【庶務課長】
- ◆それでは質問は以上とする。評価シートをご記入いただきたい。【佐久間委員長】

記入後、連番で評価発表。

- ◆以上で終了とする。本日はありがとうございました。

～閉会～